

# 回復の実感ない中、燃料高騰が続く

## 6月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

景気回復への期待感はあるものの実感は乏しく、先行き不透明な状況を脱していない。また、コスト上昇が企業収益を悪化させている中、特に燃料の高騰が輸送コストの負担感を招いている。

製造業	食料品		パン・菓子は消費税に伴う売上の落ち込みは見られず昨年並みに推移している。製麺は、天候不順の影響やPB商品に押され、依然、消費低迷基調が続く。酒造は、吟醸酒等の特定名称酒が好調である。
	繊維・同製品		婦人服地は秋冬用の生産が順調に推移している。輸出向けは引き続き低調である。和装織物は浴衣関連の売上増を期待している。伊勢崎織物は、東京の「ぐんまちゃん家」で伊勢崎銘仙展示会を開催し来場者は昨年並みである。繊維製品は、デパートの売上不振でアパレルメーカーは減産態勢である。
	窯業・土石製品		生コンの出荷量は、渋川地区や利根地区は伸びたものの、大型物件の減少で全体的には前年を下回っている。コンクリートブロックは、燃料価格の値上がりで運送コストの負担が増加し、製品価格は上昇気味で推移している。コンクリート製品は、昨年より工事発注量が少なく売上が減少している。碎石は、一部地域で売上増加傾向も見られるが、全体的に減少傾向で、輸送力の確保が課題である。
	機械・金属		景気回復感はなく積極的な設備投資もみられない。加えて燃料・電気料金の値上げで経営は厳しい。富士重工関連は、依然、高操業が続くが、一部車種の海外生産移転に伴い、関連企業は大幅に売上が減少している。電機は、季節商品が増産傾向で人員募集しても求職者が少なく人手不足の状況である。
	その他の製造業		製材は、販売単価が下落し荷動きも悪い中、電気代等のコスト増に苦慮している。紙加工品は、東毛地区の自動車関連や住宅関連が好調だが、回復基調とは言えず、燃料の価格上昇も懸念している。印刷業は、大量印刷は減少傾向で少量多品種は増加傾向である。富岡世界遺産関連の印刷物の受注増を期待している。ゴム製品は、一部に生産の国内回帰がみられ、今後の受注増を期待している。
非製造業	卸売業		高崎卸団地は、新展示場「ビッグキューブ」の視察対応で多忙である。またゲリラ豪雨で事業所浸水等の被害が発生した。太田卸団地は、全体的に仕入単価が上昇し値上げの環境が整いつつある。農産物卸は、2月の雪害でハウスを使わない露地栽培に変更した生産者が散見される中、出荷は昨年並みである。
	小売業		家電小売は、売上回復への期待感はあるが実感は乏しい。中古車オークションは、低迷時期となり出品台数の確保が困難である。ガソリン小売は、仕入価格が上昇し小売価格への転嫁不足で収益を圧迫している。商店街は、天候不順で季節商品が売上不振である。生花小売は、父の日ギフト等でヒマワリが人気である。
	サービス業		温泉旅館は、入込にホテル間格差が見られる。不動産は、高崎駅前のマンションは建設途中で完売するなど取引良好である。建物設計業は、平成26年度の設計監理業務の需要は一定水準確保される見通しである。
	建設業		総合工事業は、設計労務単価の上昇や建設業法等の改正もあり環境改善を期待している。電気工事業は、明るい兆しは一部の工事店に止まっている。塗装工事業は、民間工事が増加傾向だが人手不足のため売上は昨年並みである。鉄構は、仕事量は多く高稼働率で推移している。
	運輸業		自動車部品関連や資材関連の荷動きは減少している。週末には一部で空車も散見される。野菜は、高原キャベツの出荷が増加している。また、軽油価格の急騰で収益が悪化するも、運賃値上げ要求はなかなか受け入れられない。小口輸送は、自動車部品関連は好調で、建材関連は若干増加だが、食料品関連は大きく減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 117.0(前月比+2.8%)「県統計課・5月」
- 販売電力量 113,839万kWh(前年同月比▲3.6%)「東電群馬支店・5月」
- 住宅着工戸数 784戸(前年同月比▲26.5%)「県建築住宅課・5月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.68倍:有効1.14倍「群馬労働局・5月」
- 大型小売店販売額 218億円(前年同月比▲1.7%)「経済産業省・5月」
- 消費者物価指数(全国) 103.5(前年同月比+3.7%)「総務省統計局・5月」  
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)